

会議名 予算特別委員会（第2日）

開催日時 平成24年3月13日（火） 午前10時00分～午前11時15分

会場 第5会議室

1 出席者

2番 黒川美克、 4番 浅岡保夫、 6番 幸前信雄、  
8番 杉浦敏和、 10番 鈴木勝彦、 12番 内藤とし子、  
14番 内藤皓嗣、 16番 小野田由紀子

2 欠席者

なし

3 傍聴者

磯田義弘、柳沢英希、柴田耕一、杉浦辰夫、北川広人、鷺見宗重、  
磯貝正隆

4 説明のため出席した者

市長、副市長、教育長

企画部長、人事GL

総務部長、行政GL、財務GL

市民総合窓口センター長、市民窓口GL、税務GL、税務G主幹

福祉部長、福祉企画GL、介護保険GL、保健福祉GL

こども未来部長

都市政策部長、都市整備GL、都市整備G主幹、上下水道GL

会計管理者

監査委員事務局長

5 職務のため出席した者

事務局長、書記 1 名

## 6 付託案件

議案第 28 号 平成 24 年度高浜市公共下水道事業特別会計予算

議案第 29 号 平成 24 年度高浜市公共駐車場事業特別会計予算

議案第 30 号 平成 24 年度高浜市介護保険特別会計予算

議案第 31 号 平成 24 年度高浜市後期高齢者医療特別会計予算

議案第 32 号 平成 24 年度高浜市水道事業会計予算

## 7 会議経過

### 委員長挨拶

委員長 なお、委員会の円滑なる運営のため、総括質疑との重複を避けていただき、質疑についてはまとめて行っていただくとともに、質疑漏れのないようお願いいたします。また、質疑に当たりましてはページ数をお示しいただき、マイクを使つて的確にお願いをいたします。

### 《質疑》

議案第 28 号 平成 24 年度高浜市公共下水道事業特別会計予算

#### 歳入歳出一括質疑

問（8） 予算説明書の 302 ページ、歳出で下水道事業費が前年度と比較して、9,954 万 9,000 円の減額となっております。308 ページ以降で一般管理費が前年度比 127 万 5,000 円の減額、維持管理費が 2,581 万 3,000 円の減額、下水道建設費が 7,246 万 1,000 円の減額となっておりますけれども、それぞれ何か大きな減額要因があると思いますので、説明をお願いいたします。

答（上下水道） 下水道事業費の減額の原因でございますけども、まず、一般管理費につきましては、人事管理事業の3,434万6,000円について、人事交流などに伴いまして、前年度と比較して131万3,000円の減額となっております。維持管理費では、下水道施設の維持管理事業の委託料766万3,000円が前年度と比較して536万3,000円の減額と負担金1億9,935万7,000円が前年度と比較して、1,763万9,000円の減額となっております。最後ですが、下水道建設費の減額でございますが、汚水施設総務事業の負担金1,047万9,000円が前年度と比較して、9,379万4,000円の減額となっております。

問（8） 汚水施設総務事業の負担金が前年度と比較して、9,379万4,000円の減額と大変大きな減額となっておりますけども、何がどうという理由で減額になったのか、ご説明いただきたいと思います。

答（上下水道） この負担金の減額でございますけれども、矢作川・境川流域下水道の衣浦東部処理区建設費の負担金で、前年度が1億0,353万2,000円に対し、今年度が1,020万4,000円で9,332万8,000円の減額となっております。この理由でございますけれども、平成23年度まで汚泥の有効活用をするために、汚泥を炭化にするための炭化施設を建設しておりましたが、その施設が完成したことにより減額となったものでございます。

問（8） それでは最後に、平成24年度で下水道を整備する箇所を教えてくださいいただきたいと思います。

答（上下水道） 平成24年度の下水道を整備する箇所でございますけども、汚水施設として、論地処理分区の論地町二丁目、三丁目地内で、市道大根線から北で、現在整備中の都市計画道路吉浜棚尾線の西側の地域で約5.5ha、それと港第1処理分区の二池町一丁目、六丁目地内で、名鉄三河線と市道港線の間で高浜川より北で、秋篠寺付近までの約5.7haの合計11.2haを整備する予定でございます。また、雨水施設でござ

いますけれども、八反田第1排水区の向山町五丁目地内の高取公民館南交差点の都市計画道路吉浜棚尾線に、交差点から南へ約170m雨水管を埋設する予定でございます。そのほか、今年度整備しております汚水施設等の箇所ですね、そういったものの舗装復旧工事も予定しておりますので、よろしく願いいたします。

問（6） 今年度の下水道整備地域の大きさを教えていただいたのですけれども、全体で今年度終わると今年度末、来年度末、計画でいくとどれぐらい整備が進んでいくのですか。

答（上下水道） 下水道の整備につきまして、整備率でございますけれども、下水道の計画区域面積が890haに対して、平成22年度末で整備済面積が410.2haで整備率が46.1%ございました。平成23年度でございますけれども、16.5haの整備を見込んでおります。整備済面積が426.7haとなりますので、整備率が47.9%となる見込みでございます。平成24年度は先ほど説明しましたが、11.2haの整備を予定しておりますので、平成24年度末で整備済面積が437.9haとなる予定で整備率が49.2%となる予定でございます。

問（6） 教えて欲しいのですけれども、歳入のところで下水道事業費負担金という項目があると思っておりますけれども、これは下水道を利用されている方の、304ページ、この歳入の下水道事業費負担金という、この中身は一体何なのですか。1款1項1目。

答（上下水道） 下水道事業費負担金で下水道事業受益者負担金ということですか。これは下水道を整備しますと、どうしてもその方たちに限って、下水道を使えるというものが発生しますので、その人たちにある程度その負担金、1㎡当たり350円ですけれども、負担していただいて、整備する費用の一部を負担していただくというものでございます。それは何に使うかと言うと、例えば本管があって各家庭に取付管と言っておりますけれども、そういった管をするのですけれども、その費用の一部に充てがう費用でございます。

問（６） 確認までに教えてほしいのですけれども、これ整備している所はすべての方が多分負担する費用になると思うのですが、徴収率というところどれぐらいになるのですか。

答（上下水道） 受益者負担金の徴収率でございますけれども、２２年度の決算ベースですと、現年度分９９．４％となっております。ちなみに今年の１月末、２４年１月末の徴収率でございますけれども、現年度分は９１．６％となっております。

問（１２） 先ほど出ました１１．２％ですか、今年に行う下水道工事面積がどれだけと言われたか、あれですけれども、その地域の場所と言いますか、面積と言いますか、そういうものをどういうふうに知らせていくのか、２４年度に済んで２５年度はどこに行くかというのが、公共下水はこの地域が済んだと思って、隣に来るかと思うと違う地域に行ってしまうことがあるんですね。どういう地域が順番に公共下水が進んで行くかというのが、なかなかわかりづらいところがありますので、そういう面で何か周知していく、２４年度、２５年度、ここ１、２年のことでも周知していくような方法は、どのような取り組みをしてみえるのか、お示してください。

答（上下水道） 下水道の計画のＰＲ、進捗のＰＲでございますけれども、まず、４月に来年度ですか、工事をやられるところの地域の方にわかるように広報等で、ここが受益者負担金の賦課の対象地域になりますよ、ということで広報等でＰＲさせていただいております。それから、その方たちにいろいろな関係書類を送りまして、６月に関係者の方を集めさせていただいて、受益者負担金及び工事の説明会をしています。それから工事に入っていくわけなんですけれども、そのほか２５年度のＰＲということになりますと、やはり、財政状況そういったものも、まだわかりませんものですから、概要的なものは、市役所の窓口のほうでは説明できますけれども、この辺ですよということで、ＰＲさせていただいております。

問（１２） 隣に来たから隣が工事が始まったから今度はうちの番だなど思っていると、ぜんぜん来なかったということがありますので、できたら

わかる範囲でぜひ、市役所に聞きに行けばいいというお話ですが、なかなか行けない方もみえますし、何か知らせる方策をとっていただきたいというのが一つと、先ほど説明会を行うので皆さんに集まってもらうというお話でしたが、そこに出られない、どうしても家庭の事情で行けなかった方については、どのようにしてみえるのかをお願いします。

答（上下水道） まず、計画の話でございますけれども、ある程度、私のほうも先行して計画をお出しできればいいなと思うんですけれども、そこで公表すると、ここを必ずすると思われる方がみえるんですね、そこで財政状況等で地域整備する箇所が縮小されたりすると、また、そこでトラブルが発生するということがございますので、その辺は慎重に対応していきたいと思っています。それから、説明会に来られなかった方の対応ですけれども、先ほども説明させていただいたとおり、事前にですね、そういった関係書類を送らせていただいております。その中に説明会でお話する内容がすべて入っておりますので、それを確認していただければわかりますし、事後になりますけれども、直接市役所のほうに来ていただいて、みえた方には説明させていただきますけれども、電話で説明会に出ることができなかったんですけれどもということがありましたら、そのときに、また、お答えしているというのが現状です。

問（12） そういう面では、私も今接続したのかな、出られなくて困ったという話も聞きましたので、そういう面では、丁寧な、市役所での説明にしても丁寧にやっていただきたいなと思います。それから、資料をいただいているのですが、供用開始、かなり接続率が上がってきていますが、平成10年10年15日供用開始の所が81.8%、13年4月2日が77.5%と、低いんですが、こういう地域はどのような理由で供用開始していないのか、わかっていたらお示してください。

答（上下水道） ただいまの接続率、平成10年10年15日の供用開始の所と、平成13年4年2日供用開始の所で接続率が低いというご質問でございますけれども、平成10年10年15日供用開始の地区につきまし

でも、昨年の23年の1月末と比べますと同じぐらいなんですけれども、平成23年の7月末の資料を見ますと0.8%、接続率が上がっています。平成13年4月2日の供用開始の所は、同じく23年の7月末の接続率と比べますと2%ほど上がっております。その辺で着実に接続率は上がっていることをご理解いただきたいと思います。接続率が低い所の理由ということでございますが、私のほう、接続率を上げるために専属のそういった支援活動をする方を総合サービスのほうにお願いしております。その方が面談をしてですね、ぜひ、早く接続してくださいというようなことでお願いしているわけなんですけれども、その中の理由には、例えば平成13年4月2日の供用開始区域の所を見ますとですね、32件訪問しているわけなんですけれども、面談できたのが15件だということでございますけれども、合併浄化槽があり、もったいないという方もおみえになりますし、やる気がないという方もおみえになります。あとですね、接続を考えていますという前向きの方もおみえになります。そういった意見でございます。

問（12） 面談をして、一軒一軒といたしますか、接続していただくように話をしておられるということは、よくわかりました。その中でもなかなか接続ができない方たち、他にも会えない方もみえるでしょうが、接続する意思がないとか、そういう方たちについては、公共下水の意味がわかっていないのか、また、経済的な問題があってできないのか、そういう面では、どのように取り組みの中で捉えてみえるのでしょうか。

答（上下水道） やる気のない方ですけれども、それはなぜかということまでは、お伺いしたことはないんですけれども、恐らく今使ってみえるトイレの事情で何不自由なく暮らせることができている。その辺が一番大きいのではないかと思っています。

問（12） その際に経済的な問題も家庭によっては、かなりあるかと思うんですが、そういう方たちに対しても、やはりきちんと話を進めていっていただきたい。それから、起債が80億円余りとなっておりますが、一般会計に次いで大きな市債となるわけですが、これがまだ増加する予定

なのかどうか、そのあたりお示しをお願いします。

答（上下水道） 起債のほうの残高でございますけれども、まだ整備のほうが続きますので、伸びるといふふうでございます。起債残高のピークでございますけれども、平成30年ごろに84億円ほどを見込んでおりますし、また、前回、決算特別委員会的时候にもお話したかと思っておりますけれども、あともう一つピークがございまして、平成51年に86億8,000万円ぐらいのピークが来るということでございますけれども、あくまでも毎年ですね、16haから17haの整備を継続した場合ということで計算しておりますので、また、その辺で整備が早まったりすれば変わってくるかと思っておりますので、ご理解いただきたいと思っております。

問（12） ぜひ、この資料をいただいている中で、この地域はやらなければいけないんだけど、暫くやれないというような家がたくさん集まっている部落のような所はあるわけですが、そういう所については、今合併浄化槽についてもかなり性能がよくなっていますし、合併浄化槽そのものの出てくる汚水の数字をしっかりと見ていくということで、合併浄化槽の検討も含めて求めたいと思っておりますが、その点ではどうでしょう。

答（上下水道） 合併浄化槽の個別処理というものと下水道の集合処理というものの話になりますけれども、水質ということでございますけれども、水質でやはり集合処理である下水道、これは汚水の浄化センターのほうで、例えばチッソ、リン、そういったものも含めて、きちんと処理されています。一方合併処理のほうは、チッソ、リンまでは高額なものになれば除去するものもありますけれども、今、一般に普及しているものはそういったものまで除去しないものでございますので、その辺できちんと環境を守っていく、水質を守っていくということになれば、下水道のほうの集合処理のほうは、環境的にはいいのかなと思っております。ただ、下水道はどうしてもですね、整備に時間がかかりますので、そういった面ですね、認可区域と認可区域外というところで、認可区域内は下水道でありますけれども、認可区域外につきましては、合併浄化槽の補助制度もありますの

で、そういったものを活用していただきたいと思います。

#### 議案第29号 平成24年度高浜市公共駐車場事業特別会計予算

##### 歳入歳出一括質疑

問（12） 公共駐車場については、中を借りているというのか、という方もみえると思うんですが、今はイベントなどあって行きますけども、そういう面では足りているのかどうか、そこをお示してください。

答（都市整備主幹） 今、イベントなどで足りているのかどうかということなんですけれども、最近の大きいイベントというか、12月に市民表彰式がございました。その時には、やはり委員言われたように時間的に始まる時間が集中する場合もございますので、そういった始まる瞬間はですね、やはり違う場所に移動していただいて、たしか10台ぐらい当時、私、入口におったんですけれども、移動していただきました。そのあと30分ぐらいは、やはりそういった状況が続いたんですけれども、そのあとはスムーズにイベントが終了するまで利用がきちんとできましたので、特に不便はないというふうには考えています。

#### 議案第30号 平成24年度高浜市介護保険特別会計予算

##### 歳入歳出一括質疑

問（12） 介護保険ですが、まず、徴収率が82%となっておりますが、これまでの実績とか、また収納率のアップにどのような取り組みをしたのか、それからお聞きします。

答（介護保険） 収納率でございますが、平成22年度の収納率が普通徴収ですと80%弱でございます。それで収納対策でございますが、収納グループとですね、介護保険グループの担当職員が年金支払い月の後半に集中的に回らせていただいている状況でございます。

問（１２） 滞納状況としては、２１年が１６０人、５７６万５，１６４円、２２年は少し減りまして１５８人、５７５万４，０９６円、２３年がこれまたふえまして、２６９人で６２５万９，７６６円ということになっていますが、この滞納のどのような方が、徴収もやっていると思うんですが、どのような状況なのか、お願いします。

答（介護保険） 介護保険の滞納でございますが、介護保険料だけの滞納という方は、なかなか少なくてですね、ほかの例えば税だとか、そういったものとの競合してというか、一緒の滞納の方がまま多い状況でございます。それで一部の方においては、介護保険制度になかなかご理解していただけない方もございます。そういった状況でございます。

答（収納） ただいまの介護保険グループリーダーの答弁に付け加えさせていただきますが、どのような理由で滞納しているかという状況でございますが、２２年度決算の状況でございます。介護保険料を支払う意識の欠如というふうに分類させていただいておりますが、そういう意識の欠如といわれる方がだいたい６割占めております。先ほど介護保険グループリーダーも申し上げたんですが、こういった方たちの説明というのが、今後徴収率を上げるうえで重要になってくるかと考えております。

問（１２） ３５４ページに介護認定審査会１７人とあります。４８４万５，０００円。どのような方がなってみえるのかお示してください。それから３４６ページの３款２項ですね、調整交付金７，５９７万７，０００円計上してありますが、去年は３．０９となっているんですが、今年は書いてないんですが、どれだけかということをお示してください。

答（介護保険） 介護認定審査委員のメンバーでございますが、保健、医療、福祉の専門家ということで、医者が１０名、それと歯科医が２人、あと薬剤師さんとか、社会福祉士さん、保健師さんということになっております。それで一合議体は、１７名のうち５人で認定の確認をしていただいております。それで調整交付金でございますが、今年は３．７１で計上してございます。

問（１２） ３． ７１ということは多少上がったということなんですが、ぜひね、これ調整交付金は標準的な５％に戻していただくような取り組みをしていただかないといつまでも負担しているというような状況がありますので、その点での答弁と、それから、先ほどもありましたが、支払う意識の欠如という、そういう言い方になるかもしれませんが、経済的な問題で支払いが大変困難だという状況があるのではないかと思うんですが、その点での答弁と、それから３４６ページに１項、支払基金交付金、介護給付費等交付金が１００分の２９となっていますが、去年は１００分の３０だったんですね、これ、なぜ減っているのか。それと３４８ページの３項２目で地域支援事業交付金、これ任意事業で４４６万２，０００円計上されていますが、これが１００分の１９．７５となっていますが、去年は１００分の２０、このあたりはなぜかという質問と、内容についてお示してください。

答（介護保険） まず、順を追って御説明申し上げます。調整交付金の５％でございますが、最近ですと平成２２年の６月９日の第８０回の全国市長会議、また、平成２３年の６月８日の第８１回の全国市長会議におきまして、重点提言といたしまして、５％の保持等を全国市長会から申し上げておる状況でございます。次に介護保険料の支払いでございますが、確かに支払いがという部分もございます。そういった部分をかんがみまして、今回の介護保険制度におきまして、従前第９段階であったものを第１２段階にいたしまして、低所得者の方々の軽減を図っておる状況でございます。次に２９％でございますが、こちらにおきましては、４０歳から６４歳の方々の人口構成と６５歳以上の方々の人口構成で３年間で国によって定められておる率でございます。ということは、６５歳以上の方が多くなった反面、４０歳から６４歳の方が少なくなったということで３０％から２９％になった状況でございます。次に３４８ページの地域支援事業の交付金でございますが、こちらにおきましても先ほど３０％から２９％に下がった状況でこの部分も変動があったという状況でございます。

問（１２） 障害者控除については、今ちょうど申告時期なんですけど、今年はおわかりましたら教えてほしいんですけど、昨年は何名分出しているのか、全員分出すべきだと考えていますが、その答弁と、特養の待機者が今年度１３４人ということで、特養ホームを建てると２９人入れるわけですが、まだそれでもかなりの１００人という方たちが待ってみえるわけですね。そういう点で、ぜひ早く建てていただきたいのと、まだまだ待機者がいるという点、それから、先ほど払うのが大変で１２段階に分けたという、多段階制にしたんだというお話が出ましたが、年金がなくても一段階払ってみえる方というのか、本人のかわりに家族が払ってみえる方たちも結構いるんですよね。そういう点では減免制度が必要ではないかとずっと言っていますが、考えるんですけど、どうでしょうか。

答（介護保険） まず、障害者控除の件でございます。平成２３年の３月９日現在の発行件数でございますが、８１件でございます。今年の同期３月１２日におきまして９６件ということで、約１８％、１８．５％の件数的に伸びておる状況でございます。それでその９６件のうちですね、新規の方で御申請いただいた方が４０件でございます。逆に２回目以降の方が５６件ということで制度の周知は進んでおる状況かと認識いたしております。次に特別養護老人ホームの待機者でございますが、合計で１３４名という人数でございますが、そのうち特別養護老人ホームの対象者であろう在宅サービスを御利用しながら待機状況の要介護３以上の方々が２９名という状況でございます。そういった部分からこの２９名というのは、今までも申しておりますが、要介護３以上で在宅サービスを御利用なって待機してみえる方の数値で変動がございません。そういったことで今回小規模特養を整備させていただく状況でございます。次に無年金の方々が家族のお支払いで介護保険料を支払っていただいております状況はどうかという部分でございますが、まず、介護保険の制度そのものがですね、家族の介護ができなくなってしまったから介護保険制度が導入されたという部分を踏まえますと、家族の御負担もやむを得ない部分も出てくるのかなと考えておりま

す。

### 議案第31号 平成24年度高浜市後期高齢者医療特別会計予算

#### 歳入歳出一括質疑

問（8） 408ページ。平成24年度の保険料について、前年に対して所得割率が7.85%から8.55%、均等割額が41,844円から43,510円に上昇しております。どのような見込みにより上昇したのか、保険料の抑制に向けて努力されたのか、また、どのような手続きで決定されたのか、教えていただきたいと思えます。

答（市民窓口） まず、保険料の上昇の見込みでございますが、こちらにつきましては、一人当たりの医療費の増加などにより、広域連合の第1回目の試算におきまして、平成22年度、23年度と比べ、13.55%の上昇により一人当たりの保険料で86,040円となることを見込まれていました。この見込みに対しまして、保険料抑制のために剰余金34億円の活用、また、財政安定化基金につきましては、愛知県と協議のうえ、全国でもトップクラスの拠出による、約94億円を投入することにより、5.86%の上昇に抑え、一人当たりの保険料では、80,214円といたしております。この保険料率の改正の手続きにつきましては、平成24年2月9日に開催されました、平成24年第1回愛知県後期高齢者医療広域連合議会におきまして、承認されたものでございます。

問（8） 年々増加する医療費に対して、保険料が大きく上昇するところ、保険料の抑制に大いに努めていただいたことは理解できましたが、後期高齢者の方、特に所得の低い方に対しては、保険料率の上昇は負担と感じられると思えますが、どのような負担軽減対策が講じられますか。また、最も軽減がかかる方で、どれぐらいの保険料負担となるのでしょうか。

答（市民窓口） 低所得者に対します軽減制度につきましては、被保険者均等割額の9割軽減、8.5割軽減、5割軽減、2割軽減の措置と所得割

額の5割軽減の措置が図られています。高浜市におきましては、これら軽減措置に該当する方を1,941人、おおよそ半数の方がこの対象になるものと見込んでおります。また、最も軽減がかかる9割軽減に該当される方の保険料は年間4,300円で、前回の保険料に対しまして、200円の増加に抑えられています。

問（12） この後期高齢者医療の滞納者というのはどのくらいみえるのかということと、24年度と25年度は見直しの時期ということで引き上げが決まっているんですが、そのあと国保に戻るといような話もあるんですが、情報としてはどうかということ。その中では社会保険に入っている人は、社会保険でといような話もあるんですが、その点ではどのように聞いてみえるのかということか、つかんでみえるのか、教えてください。

答（市民窓口） 滞納者数ということでございますが、平成23年度につきましては、まだ確定段階ということではございませんので、平成22年度の決算の数値で申し上げますと、62人でございます。後期高齢者医療制度の今後の廃止という情報等に関係するどのような情報が入っているかということでございますが、後期高齢者医療制度につきましては、老人保険制度の問題点を改善するために創設された制度でございます。しかしながら、後期高齢者医療制度におきましては、75歳以上になると、それまでの保険制度から分離、区分されるという基本的な構造に問題があるとされておりました。こうした問題を改善するために国におきましては、現行制度の利点をできる限り維持する方針のもと、新たな後期高齢者医療制度につきまして、平成24年度の通常国会の提出を目指し、後期高齢者医療制度の改革が取りまとめられました、最終取りまとめを踏まえて検討しているところでございます。いずれにいたしましても、国におきまして決められました制度、これを粛々と実施していきたいと考えております。国保のほうへ編入されるというようなお話ですが、今回の最終取りまとめにつきましては、こうした方々、今、後期高齢者医療制度に加入されておられる方につきましては、国保ということになりますが、社会保険、企業など

の保険に入っておられる方は、そういった被用者保険のほうに継続してというお話も出ております。

問（１２） これは今も言われましたが、７５歳になると後期高齢者には入るということで、どこの国にもないような制度で差別医療なんですよね。ぜひ、裁判沙汰にもなっていますし、市長会としてもこんな差別を廃止する声をぜひ国のほうにも出していただきたいと思いますと思うんですが、その点での答えをお願いします。

答（市民窓口セ） この後期高齢者の問題につきましては、内藤委員、既に御案内のとおり、税と社会保障の一体改革大綱というのがもうできておりました、そこにきちっとこの制度の廃止がうたわれ、見直しがされていくという位置づけがされておりますので、私どもとしてはこの動きを注視している段階であります。

問（１２） 先ほど聞くのを忘れたんですが、滞納者が６２人みえるということで、これ短期保険証とか国保ですと資格証明書とかあるんですが、こういう面ではどういうふうになっているのか、お願いします。

答（市民窓口） 現在のところ資格証明書、短期証とも発行いたしておりません。

### 議案第３２号 平成２４年度高浜市水道事業会計予算

#### 歳入歳出一括質疑

問（２） ３ページのところに給水栓数が１７，７９０栓ということで書いてありますけど、これの今現在の水道の加入率ですが、一点お願いしたいということと、それから年間総給水量が５００万立方メートルとありますけど、平成２３年度での有収率、それから平成２４年度当初予算を積算したときの有収率をお願いしたいと思います。それからもう一点、３７ページのところに、重要給水施設の配水管の布設替工事ということで、４，５３６万円書いてございますけど、これの内容。それから、前、テレビで

も報道はされておったんですけど、厚労省が大地震想定した地域で水道管の耐震化ということで、これに対する補助金を行うというようなことが出ておったんですけども、この辺の重要給水施設の配水管の布設替工事との関連、この辺をお願いいたします。

答(上下水道) まず、3ページのほうの給水栓数の話でございますけど、今まで予算ベースと決算ベースです、かなり乖離がございました。別々の数字で歩いておったという経緯がありましたので、今回決算ベースのほうでの数字と合わせていただいております。22年度の決算ベースでは給水栓数が17,308栓ということでございます。それから年間総給水量に対しての有収率という話でございますけども、水道料金に関係します、総有収水量というのが470万トンでございますので、有収率94%ということで見込んでおります。あと、最近の有収率でございますけども、23年度、今年の24年の1月の有収率でございますけども、95.42%でございます。あと、重要給水の内容でございますけども、震災時に避難所となる学校ですとか、特別養護老人ホーム、それから病院、そういった所の配水管を耐震化していくという事業でございます、24年度はですね、平成20年度ですか、翼小学校から東へ行って、市道豊田上畑線をまた北進しまして、東部区画整理のほうに行く手前まで耐震化の工事を進めさせていただきました。24年度はその続きということで、そこから豊田上畑線から東のほうに、おとうふ工房いしかわさんがあるわけなんですけども、そこを通りましてですね、吉浜配水所、そのの所まで行くルートに耐震管を接続するという計画でございます。あと、テレビで報道があったということでございますけども、2月13日に黒川委員よりそういった情報をお聞きしました。早速ですね、愛知県の健康福祉部の担当のほうにお聞きしたんですけども、まだ県のほうも情報つかんでおみえにならなくてですね、また県から国のほうに確認していただきました。その回答について御紹介させていただきますと、NHKの報道は復旧復興枠として東海地震にかかる防災対策強化地域、あるいは東南海、南海地震防災対策推進地

区など、大地震の切迫性が高いと想定されている地域での水道の耐震化促進のため、ライフライン機能を強化等、事業費にかかる予算額分のことを取り上げたもので、個々の補助メニューについて、補助率のかさ上げや採択用件の緩和等の見直しはなく、従来の制度のままです、という御回答でございます。高浜市が行っている重要給水施設配水管布設替事業は、耐震事業費に対して3分の1の補助率でございますので、今後もいろいろな情報、そういったものを注視して耐震化を進めてまいりたいと思います。

問（2） 一日の平均給水量が13,699ということで載っておりますけど、一日の最大給水量はどのくらいを想定しているか教えてください。

答（上下水道） これはですね、一日最大給水量は天候等に大きく作用されるわけでございますけども、今までですね、一番多かったのは、16,300いくつというものがございましたけども、今年度6月に出しております、1万5,967立方メートルでございます。

問（2） 1万5,967ということで、最大契約料は1万6,000トンでしたでしょうか。

答（上下水道） 契約水量となりますと、承認基本水量のことでございますけど、今年度、23年度から下げさせていただきまして、前年度まで1万6,500立方メートル、23年度から1万6,300立方メートルでございます。

問（10） 先ほどの耐震のこと、お答えいただきました。それでですね、今聞いておりますと、重要施設を中心に耐震化を今、進めているということだと思いますけど、今までの耐震化率と今後どういう所を中心にですね、耐震化していくのか教えていただければと思います。

答（上下水道） 今後もですね、配水管の耐震化というのは必要だと思っておりますので、今、重要給水の配水管布設替工事、平成25年度まで計画しておりますけども、今後もその事業の延伸、または新たな補助事業、外部資金をいただいてですね、耐震化を図っていきたいと思っておりますけど、そういった事業に加えましてですね、下水道、土木、そういったもので移

設になるものは耐震化にしていくということで思っております。耐震化の今の現状でございますけど、平成22年度末、これが8.1%でございます。平成23年度、まだ集計しておりませんが、見込みとして約10%となる予定でございます。それから24年度末の見込みですけど、12%ということで見込んでおります。

問（10） 今の重要施設というのは大方こういった施設を重要施設というのか、教えていただければと思います。

答（上下水道） 24年度でございますけども、もちろん配水管の耐震化や老朽施設の更新を予定しておりますけども、まず、配水管の耐震化はですね、水道施設近代化事業として工事請負費2億4,797万9,000円計上させていただいております。国庫補助事業として平成19年度から継続して整備しております重要給水施設の配水管布設替工事、それから下水道整備や土木工事に伴う移設、そういったものは先ほどお答えいたしましたけど、そのほかにもですね、新しく入れる配水管の布設事業、そういったもので工事費が5,649万円を計上させていただいております。また、老朽施設で更新が必要になってくるものとしては、水道施設の近代化事業でですね、停電時に断水なく、自家発電装置に安全に切り替えるための装置として、高浜配水所の無停電電源装置等の改修工事を来年度、24年度は行う予定でございます。また、新規事業でございますけども、金額は44万9,000円と小額でございますけども、量水器の検定満期の水道メーターでございますけど、それを分解する作業ですね、チャレンジサポートたかはまに委託する予定でですね、少しでも社会福祉に貢献したいと考えております。

問（10） 具体的にその施設というのはどんな施設を中心に耐震化を進めているのか、具体的にその施設名を挙げていただけるとありがたいと思いますが。

答（上下水道） 具体的な施設といいますとですね、例えば、来年度は先ほど黒川委員いわれましたとおり、吉浜配水所と翼小学校を結ぶ間、あと

ですね、過去に行ったものとして例えば、南中学校、そこに行くルート  
の耐震化を図りました。あと、芳川町にあります、安立荘、あそこに行くル  
ートを耐震化にしております。今後ですね、高浜分院に行くルートですね、  
そういったものを考えております。

問（１２） 水道事業については市民の生活に欠かせない水ですからね、  
安心、安全、安定した供給ということを保障するという体制を確保してい  
くことが重要だと思っているし、求められていると思うんですが、全国的  
に特にこの地域で、水道事業で、高浜市が以前民営化という話が出ていま  
したが、そんなような動きが目立ったものというか、目につくというか、  
そういうものがあれば、つかんでいけば、教えてほしいということが、ま  
ずあります。

答（上下水道） 完全民営化ということは、つかんではおりませんけども、  
四国のほうでですね、プロポーザルでそういった上水施設ですとか、そう  
いったものを一括して請け負うといったものは聞いております。

問（１２） 高浜市は基本的に民営化しないというように承知していま  
すが、それでいいのかどうか。それと高浜は県水ですべてやっていますので、  
県水の単価に跳ね返るんですね。先ほどから出ていますが、上がるという  
ことがある場合には、上がる要因を抑えることが大切にもなりますが、そ  
ういう取り組みをしているのかどうか。特に徳山ダムの導水路とか、設楽  
ダムとか、今、大きな問題になっていますが、そういう問題もありますの  
で、その点はどうか教えてください。

答（上下水道） まず、民営化の話でございますけども、委員も御承知の  
とおり、前々から平成２０年度のそういった検討委員会のほうで答申が出  
されているとおりですね、委託の拡大というのはあり得ますけども、完全  
の民営化というのは考えておりません。あと、県水の単価が上がる要因と  
いうことで、今、ダムの新規水源、そういったものを挙げられましたけど、  
私のほうは愛知県のほうに対してですね、安定給水をお願いしているとい  
うことでございますので、もし単価が上がるようなことがあれば、愛知県

のほうから事前にそういった相談があるというふうに認識しております。

委員長 ここで、特別会計及び企業会計につきまして、質疑漏れがありましたら。

質 疑 な し

委員長 質疑もないようですので、以上で質疑を終結いたします。以上で質疑は全部終了いたしました。暫時休憩とします。再開は、11時15分。

休憩 午前11時05分

再開 午前11時12分

《採 決》

議案第25号 平成24年度高浜市一般会計予算

挙手多数により原案可決

議案第26号 平成24年度高浜市国民健康保険事業特別会計予算

挙手多数により原案可決

議案第27号 平成24年度高浜市土地取得費特別会計予算

挙手全員により原案可決

議案第 28 号 平成 24 年度高浜市公共下水道事業特別会計予算

挙手多数により原案可決

議案第 29 号 平成 24 年度高浜市公共駐車場事業特別会計予算

挙手全員により原案可決

議案第 30 号 平成 24 年度高浜市介護保険特別会計予算

挙手多数により原案可決

議案第 31 号 平成 24 年度高浜市後期高齢者医療特別会計予算

挙手多数により原案可決

議案第 32 号 平成 24 年度高浜市水道事業会計予算

挙手多数により原案可決

審査結果の案文について正副委員長に一任

市長挨拶

委員長挨拶

閉会 午前 11 時 15 分

予算特別委員会委員長

予算特別委員会副委員長